

# 第1回 奈良公園植栽計画検討委員会 議事要旨

日時 : 平成24年11月2日(金) 午前10時00分～12時00分  
場所 : 奈良県文化会館 1階 第3会議室  
出席者 : 委員長 尼崎博正  
委員 井原縁、西田正憲、増田昇  
事務局 奈良県土木部まちづくり推進局奈良公園室  
関係部局 《奈良県》風致景観課、道路管理課、奈良土木事務所、  
奈良公園管理事務所、文化財保存課  
《奈良市》景観課、土木管理課、道路維持課、文化財課

## 議事要旨

### 1. 委員会の趣旨説明

### 2. 資料説明

### 3. 討 議 「議題：奈良公園植栽計画検討の進め方」

#### ○樹木について

- ・重要樹木についてはデータベース化を図るべきではないか。
- ・樹木景観の保全については植栽管理をしっかりとやることが近道である。
- ・樹木の強剪定は問題が大きい。
- ・植栽については生育不良があるので、土壌調査等をしっかりと行うべき。
- ・樹木には樹齢があるので何十年かごとに樹木の更新を行う考え方もある。
- ・ナンキンハゼは、どのような理念、趣旨で取り扱うのか明確にすべき。
- ・古木や名木についてどう評価するのか明確にすべき。
- ・奈良公園は名勝として文化財的価値があるから、きちんとした保全を前提にして検討する必要がある。
- ・管理密度(レベル)の設定・配分が大切であり、その検討は合理的な理由によって行う必要がある。

#### ○景観について

- ・景観は多様な価値観があるので、景観の重要性をしっかりと把握するべきである。
- ・景観についても、定点観測などを行うべきである。
- ・景観はベースになる緑をしっかりと作ってから行うべきである。そのうえで彩りを加えるべきである。

#### ○その他

- ・樹木の伐採や剪定については、その目的をしっかりと住民に伝える方法を考えるべき。
- ・植栽景観に大きな変化を与える場合には、いろいろな観点から検討した上で魅力的な空間づくりに努める必要がある。

○まとめ

- ・次回委員会では、景観に配慮した植物、植栽管理の基本方針を具体的に審議する。